

# KEYFI トークン経済モデル

プラットフォームユーティリティ、ガバナンスへの参加、  
流動性マイニングの報酬とクレデンシャル**ID**のステーキング

著者:

ベン・ジェルヴェ (Ben Gervais)、KeyFiの共同創設者

KeyFi <https://keyfi.com>

2021年2月8日

KeyFiプラットフォームには、分散型ガバナンスを提供し、プラットフォームのユーザーにインセンティブを与え、将来のスマートコントラクト機能を強化するために、ネイティブプラットフォームトークンが必要です。KEYFIと呼ばれるこのネイティブプラットフォームトークンは、開発と使用に最大限の柔軟性を提供するように設計されています。このドキュメントでは、KEYFIの特定の機能と経済モデルの概要を説明します。

## 目次

### 1. 概要

1.1 KeyFiプラットフォームとは何でしょうか？ 1.2 KEYFIトークンの仕様

1.2a 技術仕様

1.2b スマートコントラクトインターフェース 1.3 KEYFIトークンの可用性

1.3a イーサリアムネットワーク 1.3b バイナンス (Binance) スマートチェーン 1.3c ポルカドットネットワーク

### 2. 設計原則

### 3. 分散型アイデンティティ

3.1 DeFiクレデンシャル

3.2 アイデンティティ・ステーキング

### 4. ガバナンス

#### 4.1 プロポーザル

#### 4.2 投票

#### 4.3 プロポーザルの実施

### 5. 流動性マイニング

#### 5.1 KEYFI 流動性

#### 5.2 二次流通市場のインセンティブ

### 6. プラットフォームの使用法

#### 6.1 スマートコントラクト使用報酬

#### 6.2 特典と割引のためのステーキング

### 7. 実装技術ロードマップ

#### 7.1 フェーズ1: v1コントラクトとコアアプリ 7.2 フェーズ2: プロアプリ

#### 7.3 フェーズ3: v2コントラクト

#### 7.4 フェーズ4: 完全な分散化

### 8. 要約

## 1. 概要

このドキュメントは、現在および将来の両方の**KEYFI**トークンの仕様と使用例の説明を提供することを目的としています。すべてのコンポーネントがまだ配布されて**KeyFi**ネットワーク上に存在するわけではないため、現在のユースケースはまだ最終的なものではなく、変更される可能性があります。

### 1.1 KeyFiプラットフォームとは何でしょうか？

**KeyFi**プラットフォームは、コンパウンド (**Compound**)、**Aave**などの複数のプロトコルにわたる分散型ファイナンス (**DeFi**) 資産を管理するためのアプリベースのプラットフォームです。このプラットフォームは、**SelfKey**を基盤とする固有な分散型IDクレデンシャルを必要とするトークンステーキングインセンティブを提供します。

## 1.2 KEYFIトークンの仕様

以下は、現在イーサリアムに配布されているKEYFIトークンの現在の技術仕様です。他のネットワークの仕様は若干変更される場合があります。

### 1.2a 技術仕様

OpenZeppelinコントラクトで構築されたERC-20標準に準拠しています。

<https://docs.openzeppelin.com/contracts/2.x/api/token/erc20>

### 1.2b スマートコントラクト・インターフェース

<https://etherscan.io/token/0xb8647e90c0645152fccf4d9abb6b59eb4aa99052#readContract>

<https://etherscan.io/token/0xb8647e90c0645152fccf4d9abb6b59eb4aa99052#writeContract>

## 1.3 KEYFIトークンの可用性

KEYFIトークンは、複数のブロックチェーンネットワークで使用され、できるだけ多くのユーザーにサービスを提供するように設計されています。KEYFIが配布される最初のネットワークは以下の通りです。

### 1.3a イーサリアムネットワーク

イーサリアムは、DeFiプラットフォームと統合するための主要なネットワークであり、トークンをリリースした最初のネットワークです。イーサリアムは、トークンの抽象化のベースレイヤーになります。レイヤー2の統合と最終的なETH2への移行は、どちらもイーサリアム開発ロードマップの一部です。

### 1.3b バイナンス(Binance)スマートチェーン(BSC)

BSCは、ユーザーアクティビティと、オンチェーンプラットフォームにロックされた合計値の両方の点で大きな勢いを集めています。BSCベースのDeFiプラットフォームと統合し、BSC互換のKEYFIトークンをリリースする場合があります。

### 1.3c ポルカドット(Polkadot)ネットワーク

ポルカドットネットワークは、パラチェーンを実行する機能など、非常に包括的な一連の技術機能を提供し、新しい可能性を開きます。ポルカドットネットワークとの統合と開発を計画していま

す。これには、ネットワークと互換性があり、SelfKeyの進行中のPolkadot分散型IDプロジェクトと統合できるKEYFIトークンのリリースが含まれます。

## 2. 設計原則

KEYFIトークンの経済モデルと使用法の設計は、プラットフォームの目的を達成するために、次の4つの一般原則に従います。

### 2.1 完全な分散化への道

トークンは分散化ロードマップの完了時に完全に分散化され、100%コミュニティで制御できる必要があります。

### 2.2 クレデンシヤルID

トークンは、規制への準拠が必要なユースケースやその他のID関連のユースケースの分散型IDクレデンシヤルと対話できる必要があります。

### 2.3 相互運用性

トークンは複数のプロトコルと相互運用可能な既存の概念とテクノロジーを使用して実装する必要があります。

### 2.4 Flexibility

#### 2.4 유연성

#### 2.4 柔軟性

トークンは、持続可能な長期トークン経済モデルを作成するために、供給を铸造し、バーニングする能力に関して柔軟でなければなりません。

## 3. 分散型アイデンティティ

KeyFiの主な目的の一つは、イーサリアムネットワーク上のDeFiプラットフォームにサービスを提供するというコンテキスト内で分散型IDインフラストラクチャを利用することです。IDインフラストラクチャのサポートはSelfKeyによって強化されており、SelfKeyによってリリースされると、分散型IDクレデンシヤルへのさらなるアップグレードが適用されます。分散型IDに特に関連するKEYFIトークンには2つのコンポーネントがあります。

### 3.1 DeFi クレデンシヤル

KEYFIトークン報酬スマートコントラクトにアクセスするには、相互作用するイーサリアムアドレスが有効なDeFi適格性クレデンシヤルに関連付けられている必要があります。住所は、住所の所有者が本人確認プロセスに合格した後にのみ、レジストリ契約に追加されます。クレデンシヤルなしで報酬コントラクトとやり取りしようとするアドレスはすべてブロックされます。これには、さまざまなアプリケーションにわたるさらに多くの潜在的なユースケースがあります。

### 3.2 アイデンティティ・ステーキング

分散型IDクレデンシヤルの価値をさらにサポートするために、KEYFIまたはその他のトークンをステーキングするシステムが実装されることが期待されています。そのようなシステムは、ユーザーの評判を追跡する方法や紛争を調停するシステムなどのさらなる機能を可能にするかもしれません。例えば、ユーザーは一定量のトークン(KEYFIまたはその他のトークン)をステーキングすることができます。これはクレデンシヤルIDの保証の形式として使用されます。ユーザーがIDの主張を改ざんしていることが判明した場合、プルーフオブステークシステムのノードバリデータが誤動作した場合にスラッシュされるのと同様の方法で、ステーキングがスラッシュされる可能性があります。これはユーザーの報告されたレ評判が複数の要因に応じて増減する評判システムに結び付けられます。

## 4. ガバナンス

KEYFIトークンのもう一つの主な使用例は、プラットフォームガバナンスを強化することです。これはプラットフォームと開発ロードマップ機能への投票から、トークン契約と財務の最終的なコミュニティ管理まで、段階的にロールアウトされます。

### 4.1 プロポーザル

KEYFIトークン所有者は、GitHubのKIPSリポジトリにあるKIP(KeyFi改善プロポーザル)ガイドラインに従って提案を発行できます。

<https://github.com/KEYFIAI/KIPS>

### 4.2 投票

KEYFIトークン所有者は、KeyFiスナップショットポータルを使用してプロポーザルに投票できます。アカウントトークンの残高のスナップショットは、プロポーザルに投票する資格を判断するために随時取得されます。

### 4.3 プロポーザルの実施

プロポーザルがKeyFiガバナンス規則に従って投票に合格した場合、KeyFi開発チームは、プロポーザルで概説されている変更事項または改善の移行を担当します。

## 5. 流動性マイニング

KEYFIトークンの可用性をサポートするために、UniswapなどのDeFiプロトコルで特定の流動性プロバイダーにインセンティブが提供されます。

### 5.1 KEYFI 流動性

現在、UniswapにはUSDC / KEYFIペアリング用のプールがあります。このプールの流動性プロバイダーは、KeyFiプラットフォームにLPトークンをステーキングし、KEYFIトークンの報酬を受け取ることができます。将来、さらにKEYFIトークンの組み合わせが追加された場合、そのような報酬がガバナンスシステムを通じて承認されているかどうかに応じて、それらのプールに対するインセンティブ報酬が実装される可能性があります。

### 5.2 二次流通市場のインセンティブ

他の報酬インセンティブは、有利子トークンスワップやパートナープールなど、プラットフォーム上の他のユースケースに実装される場合があります。

## 6. プラットフォームの使用法

より多くのKeyFiプラットフォーム機能がリリースされると、KEYFIトークンのユースケースが増加します。

### 6.1 スマートコントラクト使用報酬

複数のプラットフォームと相互作用するためにトランザクションをまとめてバッチ処理するプロキシ契約の開発が計画されているため、KEYFIトークンの報酬はクレデンシャル保持アカウントによって発生する可能性があります。

### 6.2 特典と割引のためのステーキング

KeyFi PROの加入を購入する場合、ユーザーは大幅な割引を受けるためにKEYFIトークンをステーキングすることができます。

## 7. 実装技術ロードマップ

現在、KeyFiプラットフォームとKEYFIトークンは開発の初期段階にあります。以下に、予想される開発ロードマップの概要を示しますが、変更される可能性があります。

## 7.1 フェーズ1: v1コントラクトとコアアプリ

現在、配布されているKeyFiプラットフォームアプリおよびトークン報酬のスマートコントラクトバージョンです。

## 7.2 フェーズ2: Proアプリ

KeyFi Proアプリの開発が完了すると、KEYFIトークンに関連するいくつかの新機能がリリースされます。これには、追加の種類のスTEEキングやガバナンスプロポーザルの機会の増加が含まれます。

## 7.3 v2 コントラクト

v2スマートコントラクトのセットは、追加のKEYFIトークンの使用法を提供する場合があります。これには、KEYFIをスTEEキングすることによるメリットや、プラットフォームの使用に対するトークンのインセンティブが含まれる可能性があります。

## 7.4 完全な分散化

KeyFiプラットフォームとKEYFIトークンの両方の目標は、完全に分散化することであり、プラットフォームのすべての管理は、KEYFIトークン所有者のコミュニティによって決定されます。

# 8. 要約

複数のチェーンとプロトコルにわたるDeFiエコシステムのさらなる開発により、KeyFiは、KEYFIトークンの堅実なトークン経済モデルの開発に引き続き取り組んでいきます。これには、変更を受け入れることや、特定のユースケースに適合する新しい開発を採用することが含まれます。